



<http://www.bike-joy.com/YYCFC.htm>

### わいわいCFC事務局

(やましろ峠道研究会準備室)  
(さんいん 1300 山口ランチ)  
(4 J チーム岩国)  
岩国市岩国 2 丁目 7 - 3 6  
ひろなかサイクル内

### ザッピング企画

岩国市通津 1951-10  
いわくに研究会内

### 転遊研企画デスク

(とれとれ岩柳企画デスク)  
岩国市藤生町 1-30-6  
コースクリエイティブ山口内

Tel.090-5573-9372

Fax.03-6368-4661

e-mail

bikejoy@mbr.nifty.com



OBSIDIAN HUNT

岩国かるたドライブ



OBSIDIAN ROAD

とれとれ岩柳



(注)ここで言う「VTT」は、フランス語のMTBにあたる全地形型の自転車「Vélo tout-terrain」を、地球の全てを遊ぶ自転車「Vélo pour tout jouer sur terre」と拡大解釈したもの。

## VTT企画は地域を救う！ やましろやしろCFC(仮称)・設立に当たって

サイクリング先達所属、ユーザー+ショップ+地域、「三位一体地域貢献マルチサイクリングクラブ」のネットワーク化

2022/06/22

謹啓

皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
また未曾有の災禍にありましても、地域の安定や発展に尽力されていると拝察申し上げます。

その地域の安定や発展について、副題にある「VTT企画が地域を救う！(注)」として、自転車目線で、地域資源の再発見や、利活用方法の提言をしつつ、さらに等身大企画を実践する「やましろやしろCFC(仮称)／わいわいCFC」を新たに立ち上げたいと考えています。

「わいわいCFC」は、サイクリング先達が所属し、ユーザー+ショップ+地域が連携する、「三位一体地域貢献マルチサイクリングクラブ」を標榜するもので、それは『日本の自転車走行環境の実情』を踏まえた上で、サイクリングネットワーク再構築の一翼と考えています。

『日本の実情』とは、“法的根拠の曖昧な日本のサイクリング”に集約されます。それは昭和の話、交通戦争の最中、「自転車は軽車両」に起因する、オートバイの集団暴走行為が適用されることと、警察が勘違いして歩道走行を指導したことの、相反する考えがサイクリングのグループ走行を乱していることです。そのため一般道の自由走行の“ホワイトサイクリング”と、曖昧利用の“ロードサイクリング”が存在すると、令和の今、改めて考えています。

『日本の曖昧な実情』は短所ばかりではないにしても、自転車市民権獲得を目指す必要があると考えており、玉石混淆自転車ソフトを許容するマルチサイクリングクラブのネットワーク化を、方法論のひとつとして2013年末より輪界や行政に提案しています。

中略になりますが、その流れで先行山口として“ホワイトサイクリング”を守備範囲とする「Thinkサイクリング山口」を立ち上げたところで、それを補完する“ロードサイクリング”を守備範囲とする「わいわいCFC」の必要性への理解をお願いしたいと思っています。

「Thinkサイクリング山口」と「わいわいCFC」は、守備範囲に差異はあるものの、自転車市民権獲得という目標は同じで、その中心企画に、日常利用とスポーツ利用の架け橋となる『トレジャーハント26』を据えています。しかしそれは自転車多様性の中の二面性の一部、生活の中の自転車の話で、スポーツサイクリング全般を考えるなら「街道」「山道」「町の道」を網羅する必要もあります。

昭和30年代の第一サイクリングブームから、平成のエコ系自転車ブーム、そして令和のインバウンド需要サイクリングと、繰り返されるブームの遠因はやはり『日本の実情』であり、駅前サイクリングマップの呪縛を打破できないでいます。それを解くには、日本では馴染みの薄い、組織で遊ぶ「ツーリングコンペティション」を処方することと考えています。

つまり、ソロツーリングに委ねるしかない「日本的サイクリング」に対して、クラブ活動の延長にある「UCI的ロードサイクリング」の必要性への理解のお願いとなります。

その「わいわいCFC」の処方的展開が、「屋代島ブルーベ」、「リバティフィールド府谷」、「毛利両川ハンティング」となります。加えて「Thinkサイクリング山口」では、「自転車月間スクールズ」と「秋需パイロット企画」を先行山口として、更に広域では、「さんいん1300」、「MTB24耐東西隔年開催」、「150メモリアルトーナメント」などを投与できないかと考えています。

何れにしても、道路の自由使用と目的外使用の狭間の話であり、さらに超曖昧な山道走行の話であり、自転車市民権獲得に向けた世論醸成活動としての「春需で情報発信」と「秋需で人材交流」を継続的に続けるための、「クローズド&オープン」や「ホワイト&ロード」と言った梁山泊的な企画です。

つきましては、自転車目線で『みち』を遊び、地域資源の利活用を愛好者と地元が連携して「等身大企画」を実践する組織を立ち上げるに当たり、当会の設立目的や活動指針にご理解を頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

令和四年六月吉日

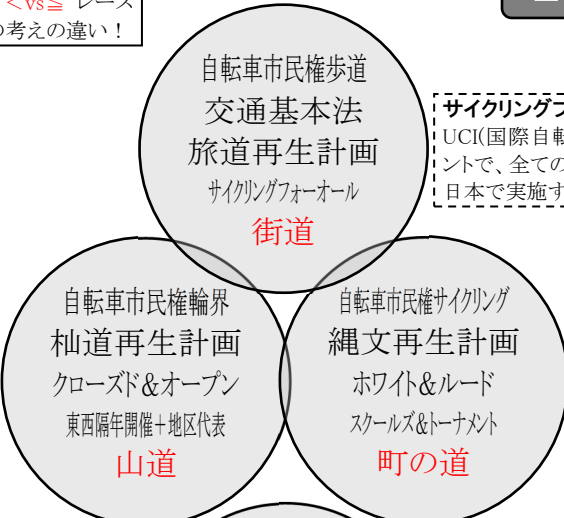
やましろやしろサイクルフレンドクラブ(仮称)発案者／石丸英明(転遊研)

全日本的企画

日本のホワイトサイクリング vs UCI的ロードサイクリング
ソロ <vs> ≤ クラブ ≤ ガイド ≤ コンペ ≤ イベント <vs> ≤ レース
ソロ活動とレース活動の狭間のグループ活動の考えの違い！

転遊研企画デスク
エジプトやコルシカで親交を深めたオーガナイザー、PBP取材で垣間見た地元クラブの存在、日本に馴染みの薄い、組織で遊ぶツーリングコンペティションの普及を考えた場合、日本の実情の壁を崩すTHT26ネットワークが必要！？
三種のツーリングコンペティションの提案

サイクリングフォーオール
UCI(国際自転車競技連盟)の公式イベントで、全てのサイクリストに向けたもの。日本で実施するための壁とは？



クローズド&オープン
MTB企画の理想はシマノバイカーズのようなレースメニューを表紙に募集し、ツーリングメニューを充実させること。

ホワイト&ロード
サイクリングの法的根拠を、春需で日常利用者を、秋需でスポーツ利用者を、それぞれ対象に、垣根を超える形で考える。

先行山口

春需で情報発信
自転車月間スクールズ/春需に合せ、初心者から愛好者まで対象に、様々なスキルアップスクールを多会場展開。
秋需で人材交流
秋需パイロット企画/スクールズ用のパイロットスタッフ養成や、ひな型スクール企画を提案型ソフトとして行う。

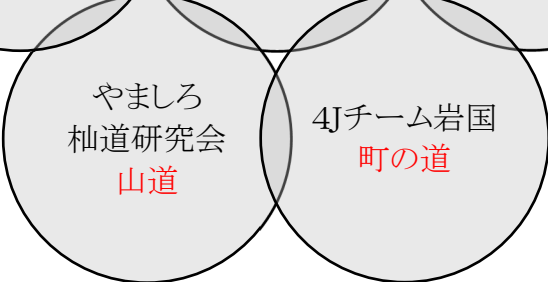
多様性の中の二面性(TCY設立趣意書より)
◎ハード: 自転車// 軽車両 ⇄ スポーツ機械
◎インフラ: 走行空間// 一般道 ⇄ 専用道
◎ソフト: 利活用// 日常利用 ⇄ スポーツ利用
◎ハート: 乗換心得// 自転車市民権 ⇄ 自転車多様性



山代屋代エリア

屋代島ブルベ
新岩国駅～由宇～屋代島一周～室津半島周回～室積～笠戸島～徳山駅...帰路輪行

ザッピング企画
都市と田舎の温度差は移動手段の違いに尽きる。自転車特区の実現を目指して、移動手段不問のトレジャーハント26をここでも処方する？



毛利両川ハンティング
瞬間的に存在した岩国藩。しかし、その意味は深い。その痕跡を辿るトレジャーハント26。

リパティフィールド府谷
構想25年、自分たちの走る道は、地元と連携し、自分たちで整備する。ついに見つけたリパティフィールド適地。

Think Zapping

Think Cycling

Think VTT

150メモリアルトーナメント
明治維新150周年企画は、若干空振りだった？ そのリベンジではないが、各地区代表を萩での決勝大会に招待できるように大会規模を模索。また、地方創生プラットフォームとして、各地の地域起し協力隊に提案。

さんいん1300
奈良～下関～奈良のPBPリスペクト企画だが日本流にアレンジ。コントロールポイントの管理は、地元サイクリングクラブのサポートを受ける形を模索。また、そのミニ企画として、スペシャルサイクリング山口も模索。

MTB24耐東西隔年開催
秋に既存の大会と連携して地区予選を行い、翌年の6月上旬に、決勝大会としてのMTB24時間耐久レースを、東西で隔年開催する体制を模索。
決勝大会:クローズド&オープン形式
地区予選:オレンジトロフィー